

事業評価手法の改定案概要

地域と連携した官庁施設の整備

従前から「シビックコア地区」「地域景観への配慮」等を推進している。
 地域連携の一層の推進により、「地方公共団体施設との合築」「津波避難ビル」等の取組みが行われている。

シビックコア地区

地域の特色や創意工夫を生かしつつ、都市拠点の形成、良好な市街地環境の形成の実現に寄与



【釧路シビックコア地区 5.6ha】
 こども遊学館等と敷地を一体的利用
 (釧路地方合同庁舎)

地域景観への配慮

国の庁舎整備を通じて、観光振興による活力ある地域の形成の実現に寄与

- ・地域の景観形成に配慮した施設整備
- ・地域に根ざした景観の保存等



地域に根ざした景観の保存
 (横浜税関本関)

地方公共団体施設との合築

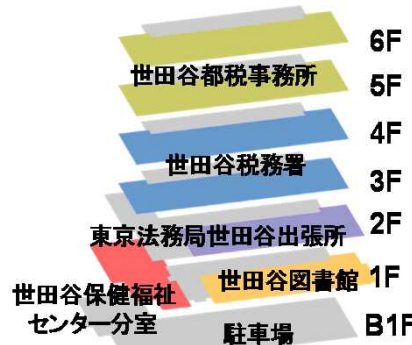
国の庁舎整備を通じて、コンパクト・プラス・ネットワークの実現に寄与

- ・公共施設等の集約・複合化、空床相互融通
- ・地域の便民施設(保健施設、図書館、保育所等)との併設

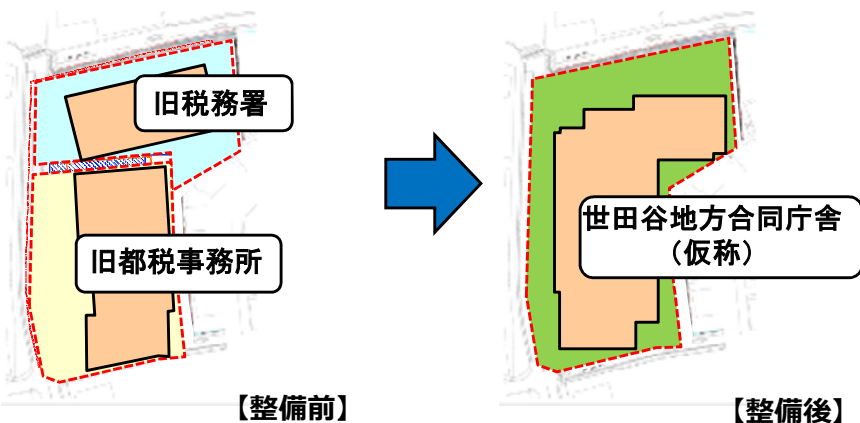
国・都・区の3者による集約・複合化
 (世田谷地方合同庁舎(仮称))



完成イメージ



敷地の一体利用



津波避難ビル

津波避難ビルの機能を確保することにより地域防災に寄与



(石巻港湾合同庁舎)

跡地の有効活用

跡地の有効利用を図ることで、地域住民の利便性の向上に寄与



事業評価手法の改定案

最近の地域連携に係る取組みを、事業評価に適切に反映するための改定を行う。

- ・事業評価の必要性において、「**地方公共団体の施設と合築整備**」「**津波避難ビル等の地域防災へ貢献する取組**」を4点加算するものに追加する。
- ・事業計画の効果において、「**敷地の一体利用**」「**津波避難ビル**」「**跡地の有効活用(地方公共団体による活用)**」を評価対象とする施策に追加する。

○事業計画の必要性

● 7点加算するもの

- ・シビックコア計画に基づく他の施設、関連事業等の 全てが整備済

● 4点加算するもの

- ・シビックコア計画に基づく他の施設、関連事業等の 全てが整備済または建設中

- ・**地方公共団体の施設と合築整備**
- ・**津波避難ビル等の地域防災へ貢献する取組**

追加

○事業計画の効果

● 施策に基づく付加機能(B2)

以下の施策を2以上取組んだ場合、特に充実した取組がなされていると評価する。

- ・地方公共団体・商店街等との連携(合築、施設・駐車場の共用、**敷地の一体利用、津波避難ビル、シビックコア**など)

追加

- ・既存建築物(歴史的建築物)の有効利用

- ・跡地の有効活用(景観形成、文化財保護、**地方公共団体による活用**など)

追加

- ・地域性のある材料の採用

- ・地域住民との連携(ワークショップ、懇談会など)

- ・オープンスペースの設置

事業評価手法改定案による評価例

施策(取組)	事業計画の必要性	事業計画の効果
○地方公共団体施設との合築	評点の対象外 ⇒ 4点を加点 ※地方公共団体施設の整備の必要性を評価	(評価の対象:従前どおり)
○津波避難ビル	評点の対象外 ⇒ 4点を加点 ※地域防災の取組の必要性を評価	評価の対象外⇒ 評価の対象
○敷地の一体利用	—	評価の対象外⇒ 評価の対象
○跡地の有効活用	—	評価の対象外⇒ 評価の対象
○シビックコア地区	(7点または4点を加点 :従前どおり)	(評価の対象:従前どおり)
○地域景観への配慮	—	(評価の対象:従前どおり)